

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 年度 (あ) 第 号【この番号は事務局が記入します】 |                 |
| 申立人の名称                     | 株式会社●● 代表取締役 ●● |
| 相手方銀行名                     | 株式会社●●銀行        |

## 申立書別紙 (記載例)

### 1. 本件紛争対象の為替デリバティブ取引と申立の内容

| 本件紛争の対象契約 | 締結年月日 (古い順に) | 本件申立の内容  |
|-----------|--------------|--|
| 本件契約 1    | 年 月 日        | <p>本件契約に対する申立人が主張されたいことを記載してください。<br/> 例: 中途解約清算金および、未払金の支払い義務が無いことについて確認を求める。<br/> 中途解約清算金および未払金は、半額まで負担するが、それ以上の支払いは行わない。<br/> 既払分(●●円)のうち●割の返還を求める。 等</p> |
| 本件契約 2    | 年 月 日        |  |
| 本件契約 3    | 年 月 日        |  |

(注1) 本件紛争の対象契約について、締結年月日の古い順に記入してください。

(注2) 記入欄が足りない場合は、適宜、記入欄を増やすか、別の用紙に記入のうえ、ご提出ください (以下同じ)。

### 2. 本件紛争対象の為替デリバティブ取引の契約締結までの経緯

| 本件紛争の対象契約  | 契約までの経緯 (相手方銀行担当者からの説明等も含む)  |
|------------|--|
| 本件契約 1 (注) | <p>各契約の導入経緯に応じて、問題とを感じる銀行の対応(※1)および契約締結を決断した理由(※2)を事実に基づいてご記入ください。<br/> ※1 相場等の説明について、不足や疑問を覚えたこと、商品内容やリスクの説明に関し問題と感じたこと、他の銀行取引を条件にした (貸出をするに当たってデリバティブ取引を求められた等) 経緯があるなど。<br/> ※2 融資に有利と考えて契約した、絶対に損をすることはないという言葉信じて契約したなど。</p> |
| 本件契約 2     |  |
| 本件契約 3     |  |

(注) 「1. 本件紛争対象の為替デリバティブ取引と申立の内容」の「本件契約1」について記入してください (以下同じ)。

### 3. 本件以外の為替デリバティブ取引の経験

| 相手銀行名    | 為替デリバティブの種類または商品名 | 取引金額 (年間受取額)  | 契約締結年月 | 契約期間 |
|----------|-------------------|---------------|--------|------|
| 株式会社●●銀行 | レシオ型通貨オプション (1:2) | ●●●● (通貨 米ドル) | 年 月    | 年    |
| 株式会社▲▲銀行 | クーポンスワップ          | ●●●● (通貨 ユーロ) | 年 月    | 年    |
|          |                   | (通貨 )         | 年 月    | 年    |

(注) 本件紛争の対象取引以外の為替デリバティブ取引について、**契約終了分**や**本件紛争の相手方以外の銀行分**も含めて、記入してください。

4. 会社の商流等

(1) 主な事業の概要（本件契約当時の状況を中心に）

当社が取り扱っている●●は、ほとんどが中国からの輸入製品であり、国内商社を經由して当社委託先の物流倉庫に保管する。国内商社との取引は、円建てで仕入価格を決定し、決済は入荷月末締めで国内商社に支払っている。種類によっては、中国現地の工場に発注することもあり、その場合は当社が直接L/Cを銀行に発行依頼してドル建てで決済する。

(注) 具体的な商流図（お取引の流れ）を別途ご作成ください（手書きで差し支えありません）。その際、商流の中で、実際の取引通貨・取引額を明記してください。

(2) 主な取扱商品の仕入から販売までの商流（本件契約当時の状況を中心に）

| 仕入品 | 主な仕入先（企業名） | 国名（取引通貨・取引額）   |
|-----|------------|----------------|
| 木材  | 株式会社 ●●商事  | 日本（●●●●千円）     |
| 野菜  | 株式会社 ●●    | 日本（●●●●千円）     |
| 衣服  | ●● Co.     | アメリカ（●●●●千米ドル） |

| 販売商品 | 主な販売先（企業名） | 国名（取引通貨・取引額）      |
|------|------------|-------------------|
| 建売住宅 | 株式会社 ●●不動産 | 日本（●●●●千円）        |
| 食料品  | 株式会社 ●●商事  | 日本（●●●●千円）        |
| ダイヤ  | ●● Co.     | オーストラリア（●●●●千豪ドル） |

(3) 仕入額の内訳等

|                         |     | ●年●月期    | 年 月期 |
|-------------------------|-----|----------|------|------|------|------|------|
| 仕入総額                    |     | ●●●●●千円  | 円    | 円    | 円    | 円    | 円    |
| うち、輸入額                  | 外貨建 | ●●●●千米ドル |      |      |      |      |      |
|                         | 円建  | ●●●●●千円  | 円    | 円    | 円    | 円    | 円    |
| うち、商社等を通じた間接的な海外からの仕入総額 |     | ●●●●●千円  | 円    | 円    | 円    | 円    | 円    |

(注1) 本件契約1（本件契約のうち最も古いもの）の**契約締結年の前年度から直近まで**記入してください。

(注2) 外貨建の場合は、通貨単位を記入してください。

(注3) 貴社が**どの程度為替相場変動リスクを負っているかを事情聴取においてヒアリング**させていただきますので、あらかじめ事実関係を把握いただいたうえで事情聴取にご出席ください（貴社が円建てで支払っている場合であっても、例えば、**単価が外貨建てで値決めがなされている場合**や**為替相場の変動を理由に値上げされる場合**は、貴社も値決めの頻度等に応じた為替相場変動リスクを負っていると考えられます）。

5. 添付資料

| 資料の種類       | 要否        | 内容  |
|-------------|-----------|---|
| 本件契約書       | <b>必須</b> | 本件各契約の契約書   |
| その他本件契約関係書類 | できる限り     | リスクに関する確認書、提案書・説明資料等、相手方銀行から本件契約に関連して交付を受けた資料がある場合        |
| 損益計算書・貸借対照表 | <b>必須</b> | 本件契約1（本件契約のうち最も古いもの）の <b>契約締結年の前年度から直近まで</b> の損益計算書と貸借対照表 |
| その他参考資料     | 必要に応じて    | 以上のほかに、申立内容の書類や商流の裏づけとなる書類（契約書、請求書等）、または補強材料となる資料がある場合    |

以上

【具体的な商流図】

※手書きでかまいませんので、お取引の流れをご記載ください。商流の中で、実際の取引通貨を明記してください。

